

## 地域福祉課題共有セミナー 実施計画書

副題：ひとりの困りごとは地域の困り事！助け合い活動や地域のつながり、支え合い活動の大切さについて一緒に考えてみませんか？

## ○目的

平成 30 年に二宮町生活支援体制整備事業が始まり、「情報の見える化」、「地域づくりにおける意識の統一」、「地域に不足する社会資源の把握」、「担い手の育成」などに取り組んできた。協議体の研究会、勉強会（さわやか財団）、地域ささえあいセミナーを経て、お互いさま推進協議会（第 1 層の協議体）、一色小学校区のいちふく（第 2 層協議体）、山西小学校区のたんぼぼささえたい（第 2 層の協議体）、二宮小学校区のクローバーの笑・和・輪（第 2 層の協議体）が立ち上がり、地域の通いの場の大切さ、つながることの大切さ、声掛けや見守りの大切さなどが語られてきた。その中でも様々な世代がつながること、新たな担い手の育成が必要との方向性がでている。今回の講座ではこれまでの活動を振り返ること、地域福祉を理解してもらうを増やすこと、担い手について考えることを目的に開催とする。

また、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」の関係を越えて、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を越えて『丸ごと』つながることで、住民ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく、地域共生社会の理念を考えてもらうきっかけとする。その他、町の BO 活動や地域の自主的な活動も報告し、町内の活動も報告する。

## ○キーワード

地域福祉…誰もが住み慣れた地域で、安心して自立した生活を送れるような社会

自助…自分のことは自分です。自らの健康管理（セルフケア）

互助…家族・友人・クラブ活動仲間など、個人的な関係性を持つ人間同士が助け合い、それぞれが抱える生活課題をお互いが解決し合う力。お互いさまの関係づくり（同情ではなく、相手の立場に立ち、身を置く共感）

地域共生社会…制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を越えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を越えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会。「他人事」ではなく「我が事」と考える地域づくり。

社会参加…病気や障がいがあったとしても、社会的な役割があるほどに、自分を取り巻く人間関係や社会活動が維持され、自分らしく豊かに生きていることを感じやすくなる。

見守り…日常生活の中でのゆるやかな、見守り・見守られること・気にかけてもらうこと、気軽に声掛けができる関係づくり、ナチュラルな居場所（世代や属性を超えた）づくり、

## ○内容

### 第一部 基調講演

「地域福祉を知ろう！！地域の担い手について考える」

田園調布学園大学 人間福祉学部 社会福祉学科 和 秀俊 准教授

### 講師プロフィール

東京生まれ、神奈川在住、ルーツは沖永良部島。立教大学法学部卒業後、スポーツクラブインストラクター、総合型地域スポーツクラブ・クラブマネジャー（NPO 職員）、早稲田福祉専門学院専任講師として仕事をしながら、東洋大学大学院社会学研究科社会福祉専攻において博士（社会福祉学）を取得。その後、立教大学コミュニティ福祉学部助教を経て、現在、田園調布学園大学人間福祉学部准教授、地域交流センター長。福祉デザインLab 代表。専門は、地域福祉、福祉デザイン。

### 第二部 町内の助け合い活動の報告

助け合い活動 オールウェイズ 三枝さん  
ほほえみの会 平田さん  
みかんの会 神保さん

## ○日程

日時：令和4年3月23日（水） 時間：18:30～20:00

対象者：二宮町に在住、在勤、在学の人

方法：Zoom80名、会場20名（町民センター2A）

申込方法：メール、電話、FAXにて 3/1から申込開始

## ○Zoom（URL、ID、パスコード）

<https://zoom.us/j/98222084713?pwd=NGsrKONwS2Viemh3Mk1WVXIXZTFnZz09>

ミーティングID: 982 2208 4713

パスコード: 971692